



## 平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ノーリツ

コード番号 5943 URL <http://www.noritz.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 國井 総一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 小関 良之

TEL 078-391-3361

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	157,220	0.5	1,219	△66.2	1,777	△63.7	△4,890	—
26年12月期第3四半期	156,416	16.7	3,610	△19.3	4,895	△7.1	1,990	△37.3

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 △4,900百万円 (—%) 26年12月期第3四半期 3,755百万円 (△58.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	△102.27	—
26年12月期第3四半期	41.63	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	190,168	111,645	56.4
26年12月期	206,061	118,244	55.0

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 107,208百万円 26年12月期 113,427百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	15.00	—	17.00	32.00
27年12月期	—	16.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,000	2.8	6,000	△19.0	6,900	△26.9	△2,000	—	△41.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	50,797,651 株	26年12月期	50,797,651 株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	2,981,814 株	26年12月期	2,980,746 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	47,816,552 株	26年12月期3Q	47,818,240 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関しましては添付資料のP. 3をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成27年11月10日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策等を背景として企業収益や雇用・所得環境の改善がみられるなど緩やかな回復基調で推移しています。しかしながら、個人消費につきましては消費税増税後の停滞傾向からは脱しつつも、物価上昇の懸念や実質賃金の低下など依然として慎重な購買姿勢が続いています。海外経済においても、米国・欧州経済が回復に向かう中、中国や新興国の経済成長鈍化など不安定な要素を抱え、景気の先行きは不透明な状況下にあります。また、国内住宅設備業界におきましては、新設住宅着工戸数は増加したものの需要の伸びは弱く、厳しい環境が続いています。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「Vプラン16」に基づき、国内事業の回復、海外事業の更なる業績拡大に向け、成長事業の育成やコスト競争力の強化などを重点課題として、高効率給湯器やガスビルトインコンロなどの拡販に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高1,572億20百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益が12億19百万円（同66.2%減）、経常利益が17億77百万円（同63.7%減）となりました。四半期純損益につきましては、櫻花衛厨（中国）股份有限公司の業績が計画を下回っており、Sakura(Cayman)Co.,Ltd.及び櫻花衛厨（中国）股份有限公司に係るのれんを一括償却したことや、市場環境が激化し収益性が著しく悪化した厨房分野と住設システム分野において減損損失を特別損失に計上したことにより、四半期純損失48億90百万円（前年同四半期は19億90百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 国内事業

当第3四半期連結累計期間の国内事業セグメントは、売上高が1,152億97百万円（前年同期比7.8%減）、セグメント損失が1億16百万円（前年同四半期は22億55百万円のセグメント利益）となりました。

温水空調分野では、低迷する国内住宅需要を背景に、給湯器の主力商品「GTC52シリーズ」を中心に高効率ガス給湯器「エコジョーズ」、高効率石油給湯機「エコフィール」などの潜熱回収型給湯器の拡販に取り組みましたが、需要が低迷した上半期の影響で温水機器の販売台数は前年同期を下回りました。

厨房分野では、好評を得ている次世代グリル「マルチグリル」を搭載した新ブランド「プログレ」、9月に発売した新ブランド「ピアット」を中心に中高級品の拡販に取り組みました。しかしながら需要が低迷した上半期の影響で、ガスコンロの販売台数は前年同期を下回りました。

住設システム分野では、2ブランド展開であったシステムキッチンのブランドを新ブランド「レシピア」に刷新し4月に発売するとともに、ジャストリフォーム対応や当社独自の「ワークL型」などの提案により拡販に取り組みました。また、システムバスにおいても5つの展開であったブランドを「ユパティオ」「ユパティオヒロイ」の2ブランドに集約し7月に発売しました。しかしながら需要低迷によりシステムキッチン・システムバス・洗面化粧台の販売台数は前年同期を下回りました。

## ② 海外事業

当第3四半期連結累計期間の海外事業セグメントは、売上高が497億39百万円（同28.3%増）、セグメント利益が13億35百万円（同1.4%減）となりました。中国では、経済成長が鈍化する中、能率(中国)投資有限公司は、上海市以外の販売エリアでの拡販や新規チャネルで販売したことにより、また、櫻花衛厨(中国)股份有限公司は、レンジフードやガスコンロの新製品などを拡販したことにより、それぞれ売上高が増加しました。米国では、タンク式給湯器の規制改正による駆け込み需要の煽りを受け、瞬間式給湯器の販売が落ち込みましたが、1月から本格発売したガス給湯器「E Z T R」が好評を得るなどにより売上高が増加しました。また、前年末に買収した豪州温水機器メーカーDux Manufacturing Limitedを連結に加えたことも売上高増加の一因となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産残高は、1,901億68百万円（前連結会計年度末比158億92百万円減）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が減少したこと等により1,035億31百万円（同107億10百万円減）となりました。また、固定資産はのれんが減少したこと等により866億37百万円（同51億81百万円減）となりました。

負債は支払手形及び買掛金が減少したこと等により785億23百万円（同92億93百万円減）となり、少数株主持分を含めた純資産につきましては1,116億45百万円（同65億99百万円減）となりました。この結果、自己資本比率は56.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月11日の第2四半期決算短信で公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成27年11月10日)公表いたしました「特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結累計期間において、株式会社エス・ビー・シーの株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が111百万円減少すると共に、利益剰余金が71百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,439	25,249
受取手形及び売掛金	60,428	48,240
有価証券	4,932	1,523
たな卸資産	20,544	21,126
その他	7,155	7,608
貸倒引当金	△257	△217
流動資産合計	114,242	103,531
固定資産		
有形固定資産	38,047	36,787
無形固定資産		
のれん	5,624	383
その他	10,257	10,550
無形固定資産合計	15,881	10,933
投資その他の資産		
投資有価証券	31,918	33,513
その他	6,853	5,871
貸倒引当金	△882	△468
投資その他の資産合計	37,890	38,916
固定資産合計	91,819	86,637
資産合計	206,061	190,168
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,225	35,403
短期借入金	1,800	426
未払法人税等	1,197	596
賞与引当金	1,201	2,469
役員賞与引当金	34	—
製品保証引当金	1,240	1,301
製品事故処理費用引当金	449	47
事業整理損失引当金	854	278
その他	20,035	18,238
流動負債合計	68,039	58,760
固定負債		
役員退職慰労引当金	51	51
製品保証引当金	1,425	1,472
退職給付に係る負債	11,508	11,462
その他	6,792	6,776
固定負債合計	19,777	19,763
負債合計	87,816	78,523

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,167	20,167
資本剰余金	22,956	22,956
利益剰余金	60,583	54,187
自己株式	△5,088	△5,090
株主資本合計	98,620	92,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,162	12,234
繰延ヘッジ損益	991	69
為替換算調整勘定	5,185	4,109
退職給付に係る調整累計額	△1,531	△1,426
その他の包括利益累計額合計	14,807	14,986
少数株主持分	4,816	4,437
純資産合計	118,244	111,645
負債純資産合計	206,061	190,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	156,416	157,220
売上原価	108,193	106,335
売上総利益	48,223	50,884
販売費及び一般管理費	44,612	49,664
営業利益	3,610	1,219
営業外収益		
受取利息	239	211
受取配当金	306	333
受取賃貸料	102	93
為替差益	296	34
その他	563	255
営業外収益合計	1,508	929
営業外費用		
支払利息	22	15
固定資産賃貸費用	77	67
貸倒引当金繰入額	△3	123
その他	128	164
営業外費用合計	223	371
経常利益	4,895	1,777
特別利益		
固定資産売却益	105	64
投資有価証券売却益	25	3
負ののれん発生益	—	44
受取保険金	—	564
製品事故処理費用引当金戻入額	—	114
特別利益合計	130	789
特別損失		
固定資産処分損	103	55
減損損失	67	1,763
のれん償却額	—	4,686
関係会社株式評価損	—	9
製品事故処理費用	1,944	—
環境対策費用	24	—
その他	51	—
特別損失合計	2,192	6,515
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,833	△3,948
法人税、住民税及び事業税	1,923	1,760
法人税等調整額	△1,036	△727
法人税等合計	886	1,033
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,947	△4,981
少数株主損失(△)	△43	△91
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,990	△4,890



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,947	△4,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,043	2,071
繰延ヘッジ損益	432	△921
為替換算調整勘定	331	△1,173
退職給付に係る調整額	—	105
その他の包括利益合計	1,807	81
四半期包括利益	3,755	△4,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,643	△4,711
少数株主に係る四半期包括利益	111	△188

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	120,811	35,605	156,416	—	156,416
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,239	3,166	7,405	(7,405)	—
計	125,050	38,771	163,822	(7,405)	156,416
セグメント利益	2,255	1,355	3,610	—	3,610

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	110,712	46,507	157,220	—	157,220
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,585	3,231	7,816	(7,816)	—
計	115,297	49,739	165,036	(7,816)	157,220
セグメント利益又は損失(△)	△116	1,335	1,219	—	1,219

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。